

平成 21 年度基礎学力テストより

高水須坂支会研究委員会

平成 8 年度から継続実施している「基礎学力テスト」(新入生の学力実態調査)について報告します。

各校毎に実施時期と時間が異なる

毎年、調査対象校が変わる

という事情もあり、年度による比較を行うことは難しいはずですが、特定の分野、特定の問題で正答率が低い(誤答率、無答率が高い)傾向が見られます。

誤答率 20%以上、無答率 10%以上の問題における主な誤答例を以下に示します。

1	(2) $4.3 - 1.43$ 正答: 2.87 誤答例: 2.97, 2.93, -1 (引き算の筆算を正しく行えていない)
	(3) 4.06×1.04 正答: 4.2224 誤答例: 422.24, 42.224 (小数のかけ算において、小数点の位置決めのみまりを知らない)
	(10) $-20 \times 3 \div (-15) \times 2$ 正答: 8 誤答例: 2 が圧倒的に多い (計算の優先順序を知らない)
	(11) $\sqrt{32} \times \sqrt{2}$ 正答: 8 誤答例: ± 8 (平方根の記号のみまりについて理解不足)
2	(16) $x^3 y^6 \div (x^5 y)$ 正答: $\frac{y^5}{x^2}$ 誤答例: $\frac{x^3 y^6}{x^5 y}$, $x^2 y^5$ (約分できない、指数をかけ算に直せない) (割る式と割られる式を取り違えている)
	(17) $\frac{x+3y}{3} - \frac{x-2y}{4}$ 正答: $\frac{x+18y}{12}$ 誤答例: $\frac{x+6y}{12}$, $x+18y$ (通分後の分子の $-3(x-2y)$ を正しく展開できない)

4	(20) $2x^2 - 8x$ 正答: $2x(x-4)$ 誤答例: $2(x^2 - 4x)$, $2(x+2)(x-2)$ (共通因数のくくりだしが出来ない)
5	(25) $\begin{cases} 5x+3y=-8 \\ x-2y=14 \end{cases}$ 正答: $x=2, y=-6$ 無答が多い
	(30) $x^2 + 3x = 0$ 正答: $x=0, -3$ 誤答例: $x=-3$, $x(x+3)$ 無答が多い (4(20)同様共通因数のくくりだしてつまづき方程式を解く段階までたどり着けない)
	(31) $(x-3)^2 = 5$ 正答: $x=3 \pm \sqrt{5}$ 誤答例: $x=8, -2$, $x=3, 5$ 無答が多い ($x-3 = \pm\sqrt{5}$ の計算が出来ない)
6	(2)公園から動物園まで、時速何 km で歩いたか。(グラフより) 正答: 3km 誤答例: 2km, 0.05km 無答が多い (公園 - 動物園の距離を求め速度としている、あるいは分速を計算している)
9	底辺 x cm, 高さ y cm の三角形の面積が 24 cm^2 であるという。 x と y の関係式をかけ。 正解: $xy = 48$ 誤答例: $y = 24/x$, $\frac{xy}{2}$ 無答が多い (公式の運用が出来ない、問題文の条件を方程式で表せない)
11	3^{100} の一の位の数 正解: 1 誤答例: 0, 3, 9, 300 無答が多い (問題の意味を正確にとらえられず、無答あるいは計算を試しても位数を見つけることにつながらない)

確認された「つまづき」の部分は、高校の授業を展開する中で機会を捉え、回復をはかる必要があります。各校毎に基礎学力テストの分析を行い、今後の授業に活かしていく予定です。